

# SENKO CSR REPORT 2020

環境・安全・健康・社会への取り組み

## 人を育て、人々の生活を支援するセンコーグループ



### 特集1

お客様と協働で  
実現する  
グリーン物流



### 特集2

人と暮らしに寄り添い、  
現代社会の  
ニーズに応える



### 特集3

農業で地域社会の  
豊かな未来を  
デザインする





# Moving

ごあいさつ

## 人を育て、人々の生活を支援する

当社グループは2017年4月から持株会社体制に移行し、2021年度までの中期経営5カ年計画「センコー・イノベーション・プラン2021 (SIP21)」に取り組んでおります。

SIP21では、「企業の社会的責任 (CSR) の重視」を経営方針のひとつとし、「環境」、「安全」、「健康」、「社会」の各活動に取り組んでおります。2019年度からは、センコーグループの事業活動と国連が掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」の関係性をより明確にし、グループ内外に私たちの想いを届けています。

2019年度の取り組みとして、「環境活動」では、従来からのモーダルシフトをさらに進め、一般社団法人日本物流団体連合会から第20回物流環境大賞の「特別賞」を2件、「モーダルシフト取り組み優良事業者」として

## Contents

ごあいさつ	1
事業概要	3
中期経営計画とCSR方針	5
事業活動とSDGsの関係性	7
特集／人を育て、人々の生活を支援するセンコーグループ	
①お客様と協働で実現するグリーン物流	9
②人と暮らしに寄り添い、現代社会のニーズに応える	11
③農業で地域社会の豊かな未来をデザインする	15

## Global

物流を超える  
世界を動かす  
ビジネスを変える

## センコーグループ

4件受賞しました。今後も環境負荷低減に努めるとともに、新たに始めた生物多様性の保全に向けた活動など、環境保護活動を推進してまいります。

「安全活動」では、アイトラッキングシステムなどの先進技術を導入し、安全管理システムの強化を図りました。従業員が安心して働ける安全な職場環境をつくり続けることで、人が集う企業グループを目指してまいります。

「健康活動」では、「健康経営優良法人2020」に3年連続で認定されました。また、昨年につき、グループ会社2社が中小規模法人部門でも認定されました。従業員が生き活きと働けるよう今後も健康増進に取り組んでまいります。

「社会活動」では、柔道やゴルフ、囲碁等を通じてスポーツ・文化の振興を図るなど、積極的な活動を展開

しています。また、託児所の運営、献血活動なども継続して行っており、こども交通安全教室や、職場体験、農業体験など、様々な機会をご提供することで、地域社会とのつながりを深めています。

今後も、当社グループは、人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、ステークホルダーの皆さまに信頼されるよう、グループ一丸となってCSR経営を推進するとともに、事業を通じたSDGsへの長期的な取り組みを強化していく所存です。

センコーグループホールディングス株式会社  
代表取締役社長  
CSR推進委員会委員長

福田 泰久

環境活動／環境活動ダイジェスト	17
環境報告	19
安全活動／安全活動ダイジェスト	23
安全報告	25
健康活動／健康活動ダイジェスト	29
社会活動／社会活動ダイジェスト	31
社会報告	33
コーポレート・ガバナンス	35
企業データ	37

#### ■編集方針および報告の範囲

センコーグループは、CSR推進委員会を設置し、従来から経営の重要事項と位置づけていた「環境保全」「交通安全対策」を含めたCSR活動の取り組みについて2008年度から「CSR報告書」として発行しています。

編集方針は下記の通りです。

- (1) センコーグループの報告対象期間における特徴的なCSR活動を「特集」として紹介しています。
- (2) 報告対象範囲は、センコーグループの活動です。
- (3) 報告対象期間は、2019年4月から2020年3月までの活動ですが、一部2020年4月以降のものも記載しています。
- (4) 環境の報告は、環境省の「環境報告ガイドライン(2018年版)」を参考にしています。

# センコーグループの4事業

人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、  
サービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦しています。

※会社数は2020年3月末現在

## 物流事業グループ 96社

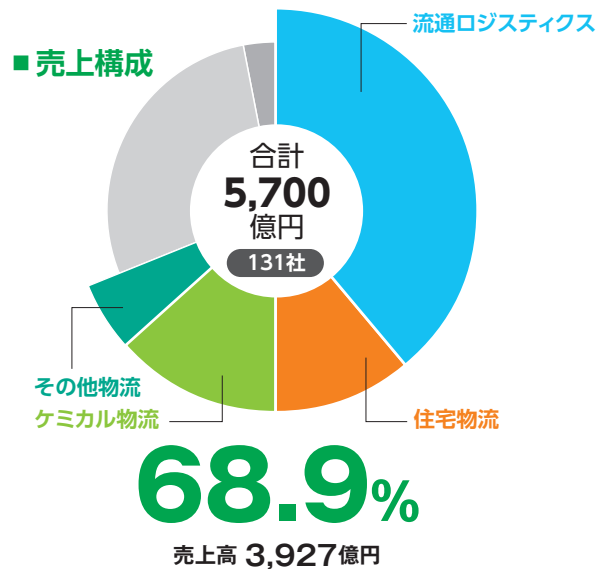
総合スーパー・ドラッグストア・ホームセンター・アパレルなどの流通業界をはじめ、住宅・建材業界、化学製品などのケミカル業界のお客様を中心に物流事業を展開しています。

また食品業界向けには、冷凍・冷蔵倉庫を保有し、輸送では保冷トラック・鉄道コンテナを利用するなど、全国規模で低温物流(冷凍・冷蔵)のネットワークを構築しています。

さらに、海外に現地法人などの事業拠点を開設し、国内外をつなぐ複合一貫輸送や海外での物流センター事業を展開しています。

### 【主な事業会社】

センコー(株)／(株)ランテック／東京納品代行(株)／  
センコーエーラインアmano(株)／アクロストランスポート(株) ほか



### 流通ロジスティクス



売上構成  
**39.1%**

売上高 2,226億円



量販・小売、食品、ファッションなど

### 住宅物流



売上構成  
**11.1%**

売上高 632億円



住宅メーカー製品や関連資材など

### ケミカル物流



売上構成  
**13.4%**

売上高 766億円



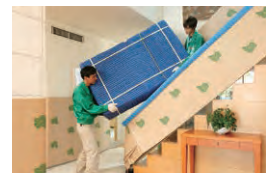
樹脂原料や樹脂成型品、加工品など

### その他物流



売上構成  
**5.3%**

売上高 302億円



流通ロジスティクス、住宅物流、ケミカル物流以外

## 商事・貿易事業グループ 13社

石油販売、商事販売、貿易事業などを行っています。燃料販売、物流機器・資材など物流関連資材や日用品、包装資材、食品、酒類などを販売しています。

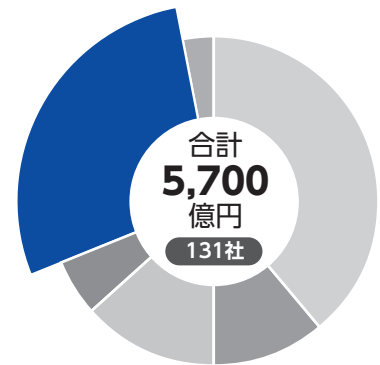
また、お客様の原材料や製品の輸出入、海外取引などの貿易事業も行っていきます。

### 【主な事業会社】

センコー商事(株)／アスト(株)／(株)スマイル／(株)丸藤 ほか



### ■ 売上構成



**28.3%**

売上高 1,613億円

## その他事業グループ

### ビジネスサポート事業 12社

お客様の多様なニーズに対応した「最適な物流システム」を実現するため、物流コンサルティング事業やITソリューションシステムの開発と運用を行う情報システム事業を展開しています。

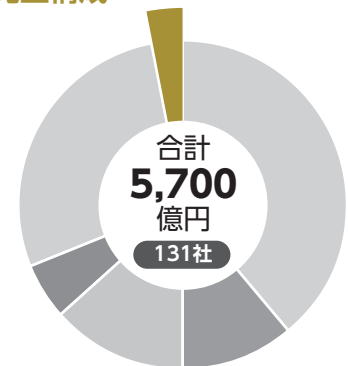
また不動産事業や人材派遣事業、通販事業者向けのコールセンター事業なども行っています。

### 【主な事業会社】

ロジ・ソリューション(株)／センコー情報システム(株)／センコー不動産(株)／S-TAFF(株)／センコービジネスサポート(株) ほか



### ■ 売上構成



**2.8%**

売上高 160億円

### ライフサポート事業 10社

介護、フィットネスや家事代行、引越などの生活者を支援する事業を展開しています。

また「(株)センコースクールファーム鳥取」では、廃校を利用した福祉型農業を行っており、葉物野菜やキノコ類を栽培・販売しています。

### 【主な事業会社】

(株)けいはんなヘルパーステーション／(株)ブルーアースジャパン  
(株)ビーナス／(株)センコーリビングプラザ／(株)センコースクールファーム鳥取 ほか



# 企業価値向上と、 豊かな未来社会の実現へ

## グループ一丸となってCSR経営を推進

### センコーグループの成長戦略

# 『SIP21』

センコーグループは、2017年4月から中期経営5カ年計画「SIP21」をスタートさせました。

その方針の中で「社会的責任(CSR)の重視」を掲げています。

### グループ戦略の方向性

「SIP21」(センコー・イノベーション・プラン2021)は、「人々の暮らしと産業を支える企業グループ」として、新潮流の創造に挑戦し、新たな100年を切り拓いていく私たちの成長戦略です。

# SIP21

Senko Innovation Plan 2021

## 「Moving Global」の実現

～物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える～

グループ一体となり、  
国内外の経済・社会に  
イノベーションを起こす。

### グループ中期経営目標

2021年度目標

● 営業収益	7,000億円
● 営業利益	280億円
● 営業利益率	4.0%
● 自己資本利益率(ROE)	10.5%
● 自己資本比率	40.2%

### グループ中期経営方針

#### 1 事業領域の拡大

海外での事業拡大の加速、国内での既存事業の高度化、ライフサポート・ビジネスサポート事業などの新事業領域に進出する。またそのために、積極的な業務提携やM&Aも推進する。

#### 2 ブランド価値の向上

グループ総合力を結集させ「驚きと感動を与えるサービス」を提供し、顧客満足度(CS)から顧客感動(CD)へ進化する。

#### 3 従業員満足度(ES)の向上

幅広い人材が集まり、成長し、生きる環境へ価値を高めるため、多様な制度づくりと活発な利用を通じ、従業員満足度を向上する。

#### 4 社会的責任(CSR)の重視

地域・各地の産業、文化、自然を守り、育て、社会とともに成長する。

#### 5 資本市場の信頼獲得

企業グループ全体の価値の最大化を図るとともに、財務健全性を高める。

# グループCSRの中期方針

当社グループをはじめ、仕入先や協力企業なども含め、コンプライアンス、CSRを重視する意識を高める。

## 重点施策

### 1 環境活動

- ①特定事業者として省エネ目標の達成に取り組む。
- ②「省エネ化によるリデュース」「リサイクル率」「グリーン商品購入率」を向上させ、循環型社会へ貢献する。
- ③グループ会社の環境情報を整備し、グループ会社への環境目標の展開を進める。
- ④LED照明、低公害車など、環境負荷低減設備の積極的導入を進める。
- ⑤新拠点への太陽光パネル設置や、大型CNG車導入などで代替エネルギーの活用を進める。
- ⑥グリーン物流の推進として、モーダルシフトをお客様に積極提案する。

### 2 安全活動

- ①グループ会社の特性に応じた安全・衛生マネジメント体制を確立する。
- ②ビッグデータを活用し、各種安全関連システムの一元化を図る。
- ③事故を未然に防ぐ(アクティブセーフティ)技術を積極的に導入する。
- ④安全技術の継承と学びの機会を創出する。

### 3 健康活動

- ①グループ全従業員の健康情報を管理し、健康寿命増進につなげる。
- ②健康管理を強化し、健康起因事故を撲滅する。
- ③ストレスチェック実施による予防管理体制を構築する。
- ④健康保険組合との連携による健康増進活動を強化する。

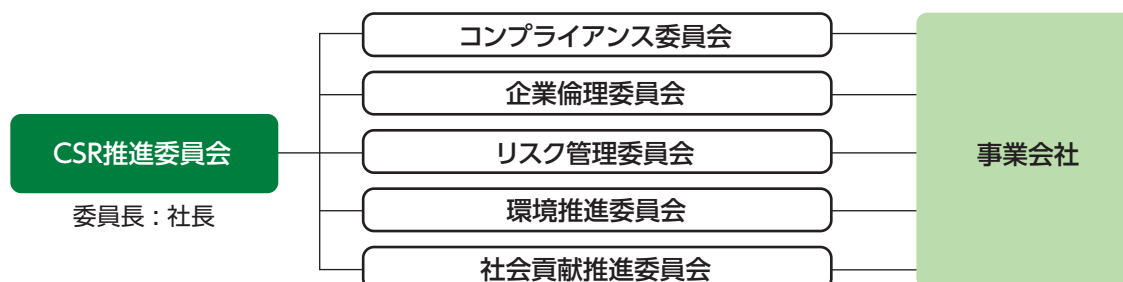
### 4 社会活動

- ①交通安全教室や地域清掃を積極的に行い、地域社会へ貢献する。
- ②海外での教育支援などのボランティア活動を積極的に行う。

## センコーグループのCSR推進体制

さまざまな社会的責任を果たすため「コンプライアンス」「企業倫理」「リスク管理」「環境推進」「社会貢献推進」の各委員会がCSRに関する個々の活動を推進しています。

さらにセンコーグループホールディングス(株)の社長を委員長とするCSR推進委員会が各委員会を統括しています。



# 人を育て、人々の生活を支援する センコーグループの事業活動とSDGs

## ビジネスサポート事業

物流コンサルティング / ITソリューション /  
コンタクトセンター / 人材派遣 / ホテル / 不動産 など

## 商事・貿易事業

貿易 / 石油販売 /  
日雑品・食品・酒類の販売 など

センコー  
グループの  
SDGs  
優先テーマ

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



10 人や国の不平等  
をなくそう



11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



## 物流

輸送 / 保管 /  
構内作業 /

## Economic level

事業を通じて社会に新しい価値を提供する

人を育て、人々の生活を支援する事業

事業活動を通じ、CSR施策と連動した取  
り組みで社会課題の解決を目指すとともに、  
社会のバリアフリー化に貢献します。



お客様との協働によるグリーン物流の推進



自然災害に強いレジリエンスな物流サービスの提供



介護・健康サービスをはじめとするライフサポート事業の展開



農業を通じてコミュニティ開発を目指す㈱センコースクールファーム鳥取

## 地球環境の持続可能性



PDセンターでの太陽光発電・省エネ設備の導入



輸送インフラの低エネルギー・低炭素化 (CNG車、電気トラックの導入)



更生タイヤの活用



大阪湾再生プロジェクトに協力



センコーグループでは、「健全な地球環境」と「良好な社会関係」の上に「経済活動」が成り立つという考え方を原則とし、事業を通じて社会課題の解決と新しい価値の創造を目指しています。

### クレフィール湖東

交通安全教育／人材育成／  
こども交通公園 など

### ライフサポート事業

介護・家事代行／フィットネス／  
引っ越し／レストラン／農業 など

### 事業

流通加工／  
国際物流 など

センコー  
グループの  
SDGs  
優先テーマ

3

すべての人に  
健康と福祉を



4

質の高い教育を  
みんなに



5

ジェンダー平等を  
実現しよう



8

働きがいの  
経済成長も



17

パートナーシップで  
目標を達成しよう



3

すべての人に  
健康と福祉を



7

エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



12

つくる責任  
つかう責任



13

気候変動に  
具体的な対策を



## Society level

地域コミュニティをはじめ、センコーグループに繋がる、あらゆるステークホルダーとの対話と協働を推進し良好な社会関係を構築します。

### CSR

安全活動  
健康活動  
社会活動

### 基盤となる人材と組織



グループ全社での健康  
経営の推進



人とビジネスを育てる  
センコーユニバーシティ



事業拠点での子ども交  
通安全教室



クレフィール湖東を拠点  
とする物流安全教育・  
プロドライバー養成

### 社会との協働

## Environmental level

### 事業活動による環境負荷を最小限に抑える

物流企業として「エネルギー消費」や「温室効果ガスの排出」についての責任を自覚し、その把握と削減に最大限努めます。

### CSR

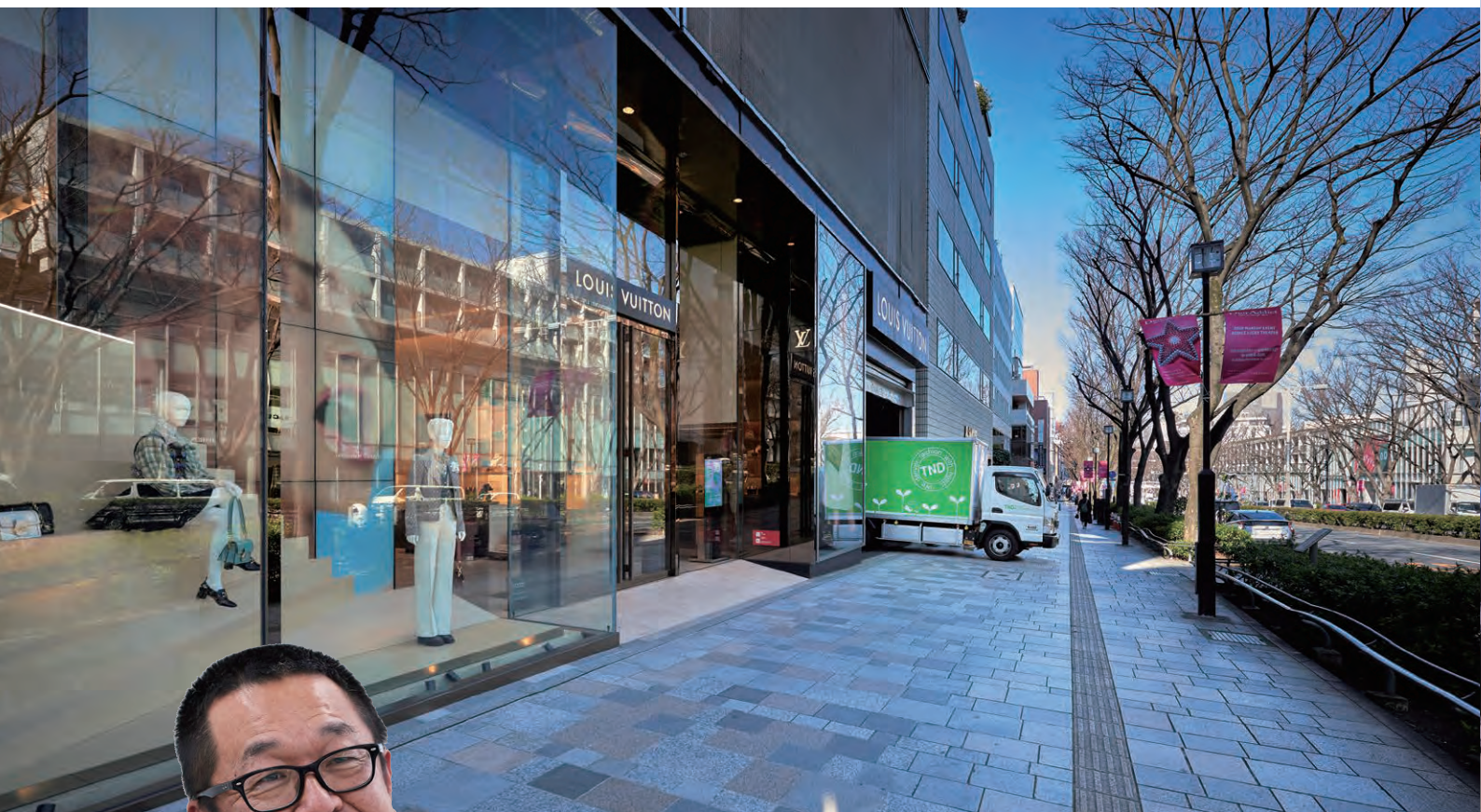
環境活動

人を育て、人々の生活を支援するセンコーグループ

# お客様と協働で実現する グリーン物流

SDGsとの関係

CO<sub>2</sub>を排出しない電気トラックを導入することで、トラック輸送によるCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。またお客様の協力を得て配送を電気トラックに切り替えるなど、お客様と協働でグリーン物流を推進しています。



東京納品代行株式会社  
代表取締役社長

いとう ひろゆき

伊藤 裕之

## 東京・ファッションストリートを駆ける 東京納品代行の電気トラック

欧州のラグジュアリーブランドであるLVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン ジャパン(株) (以下、ルイ ヴィトン(株)) 様は環境問題への対応を非常に重視されており、早くから「環境に配慮した物流サービスを提供してほしい」とのご要望をいただけてきました。それに応えて2014年、業界に先駆けて導入したのが、CO<sub>2</sub>排出ゼロの電気軽トラック(軽貨物車両)です。そこで効果を確かめ、2019年、世界初の量産型電気トラック「e-Canter (イーキャンター)」を2台導入しました。同年7月からルイ ヴィトン(株)様専用の電気トラックが東京の銀座・表参道エリアを走っています。



## 日本初・ハンガー車仕様の電気トラックを導入

今回導入した「e-Canter」の特長は、電気自動車では国内初のハンガー車仕様にしたところです。洋服をハンガーにかけたまま積載でき、箱詰めによる衣類のシワを防ぐなど、アパレル関連の物流に適した仕様を実現しました。またセンコーグループを挙げた取り組みとして最新型AEDを助手席後方に搭載し、人命救助にも備えています。

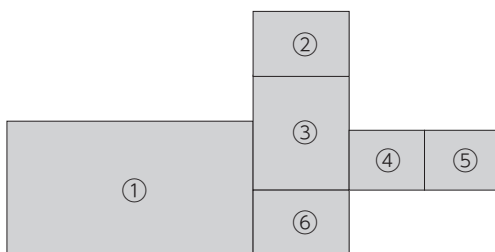
電気トラックが一度の充電で走行できる距離は約100km、充電には200Vの充電器で7～8時間必要です。導入にあたっては自社の拠点に充電器を配備する他、配送中に充電が必要になった場合に立ち寄れるスポットを確保しながら効率よく配送できるルートの構築に苦心しました。



## 環境負荷低減とともにお客様の企業価値向上に貢献

ルイ ヴィトン様の本拠地である欧州では、環境への配慮に対する要求が厳しく、その対応がブランドにも大きな影響を及ぼします。今回、そうしたグローバルな視点でお客様と一緒に環境に配慮した物流を実現したことで、CO<sub>2</sub>排出量削減はもちろん、お客様の企業価値向上にも貢献し、信頼関係をより強固なものにすることができました。今後はお客様のグループブランドの共同配送も進めることで、輸送を効率化しながらファッション物流のゼロエミッションに寄与したいと考えています。また他の荷主企業様の配送でも電気トラックへの切り替えを推進していく計画です。

現在、お客様と社会課題の解決に向けた新たな協働にも着手しています。使わなくなった衣料品を回収・リサイクルする企業連携プロジェクト「BRINGプロジェクト」への参画です。店舗で不要になったスタッフユニフォームを当社の配送ネットワークで一括回収し、リサイクル工場に輸送することで、衣料品リサイクルの効率化と環境負荷低減に役立ちたいと考えています。公道を利用して事業を展開する物流事業者としてこれからも荷主企業様と共に「グリーン物流」を推し進め、SDGsの達成に貢献していきます。



- ①多くのハイブランドが軒を連ねる表参道の店舗に納品
- ②専用の電気トラックに描かれたルイ ヴィトン様との協働を象徴するイラスト
- ③店舗横の搬入口に入る電気トラック
- ④洋服をハンガーにかけたままトラックに積載
- ⑤ハンガーレールにかけられた洋服は自動で搬入口へ
- ⑥物流拠点の東日本SCMターミナルに200Vの充電器を設置

人を育て、人々の生活を支援するセンコーグループ

# 人と暮らしに寄り添い、 現代社会のニーズに応える

SDGsとの関係

センコーグループが新たな100年を切り拓いていくための挑戦として、ライフサポート事業に進出しました。スポーツクラブの運営、介護・福祉サービスの提供を通じて地域の人々の健康と暮らしに寄り添い、安心して生活できる地域づくりに貢献しています。



## 人々の生活を支援する ライフサポート事業に挑戦

「人々の生活を支援する企業グループ」として、生活者に寄り添う新たな事業の創出を目指し、ライフサポート事業に挑戦しました。地域に根差し、高い志と成長意欲を持つ会社をグループに迎え入れ、多くの人々の「健康」「生活」「食」などに寄与する事業を推進しています。今後はライフサポート事業各社のシナジーを最大化しながら各社で新規出店や新サービスの創出を加速し、事業を成長させていきます。超高齢社会を前に、人々の健康や暮らしに寄り添う事業を通じて健康寿命の延伸や介護・福祉の充実などといった社会課題を解決し、社会に貢献したいと考えています。

センコーグループホールディングス株式会社  
取締役常務執行役員  
ライフサポート事業推進部長  
しらき けんいち

白木 健一



# 快適な住まいと豊かな シニアライフを実現する

訪問介護・老人ホーム

## 安心・快適な生活を満喫できる 老人ホーム

株式会社けいはんなヘルパーステーションは、奈良県北西部を中心に訪問介護や訪問看護、デイサービスなどを提供してきました。生活支援に留まらず、「住まい」から高齢者の暮らしを支えることを目指し、老人ホームの運営にも力を注いでいます。20年以上にわたって培ってきた介護サービスのノウハウが当社の強みです。高いスキルとホスピタリティマインドを持ったスタッフが、あらゆる介護レベルやニーズに対応し、安心して快適な生活を支えています。

さらに現在はセンコーグループの一員としての強みを活かし、老人ホームの拡充を進めています。センコーと住宅メーカー様との連携のもと、既存の3施設に加えて2020年4月に初めて滋賀県に新ホームを開設。2020年6月には、新たにサービス付き高齢者向け住宅を奈良県生駒市にオープンしました。多目的ルームを設けて暮らしに楽しみや生きがいを感じていただくアクティビティを充実させることに加え、入居者様だけでなく地域にも開放します。入居者様と社会とのかかわりを大切にするとともに、地域に根差した施設として、高齢者の豊かな暮らしにも役立ちたいと考えています。

## 介護人材の確保・育成に取り組み 地域の高齢者福祉の向上に貢献する

高齢化が進展する一方で、介護福祉業界では長くサービスの担い手となる人材の不足が課題となっています。当社では、介護人材の養成研修事業を通じて、自社の介護スタッフの技術向上や資格取得のみならず、業界全体の介護人材の増加とサービスレベルの底上げにも力を尽くしています。事業所内に保育所を開設したのも、同じ思いからです。地域にも門戸を開き、仕事と子育ての両立を後押しすることで、介護人材の増加につなげたいと考えています。

今後は、高齢者の多様なニーズに対応した施設を増やすとともに、奈良県南部や関西一円にもエリアを拡大し、サービスのすそ野を広げていく計画です。総合介護サービス企業として、これからも地域の高齢者福祉の向上に貢献していきます。



### 株式会社 けいはんなヘルパーステーション

【会社概要】

1999年に設立し、奈良県北西部を中心に訪問介護・訪問看護、デイサービス、ケアマネジメントなどの居宅介護支援、および有料老人ホームの運営などの事業を展開しています。社会のニーズに応じて、タクシー事業や障がい者向け福祉サービス、介護人材の育成、福祉用具の販売・レンタルなどにも事業を広げています。



# 運動とリハビリで 高齢者の自立を支える

デイサービス・訪問看護

## 運動に特化して自立した暮らしを支える デイサービス、訪問看護・リハビリを展開

要支援・要介護の状態になっても運動やリハビリを通じて心身の機能の悪化を防ぎ、自分のことを自分でできる「自立実現」を支えることを目的に、(株)ビーナスでは「運動」に重点を置いたデイサービスや訪問看護・訪問リハビリを展開しています。

当社の特長は、利用者様の身体の状態に応じて段階別にサービスを提供する仕組みを構築しているところです。病院で治療を受けた後にご自宅で看護やリハビリを受ける「ビーナス訪問看護ステーション」、状態が改善して外出できるようになったら、リハビリと入浴、食事もできる[1日型リハビリ&入浴デイサービス]ビーナスケアセンターや、リハビリと入浴が可能な[半日型リハビリ&入浴デイサービス]ビーナスプラス、さらに体力がいたら「ビーナスクラブ」で身体づくりと、自立に向けて少しずつステップアップしていける施設・サービスを整えています。

## 楽しく足腰と脳を鍛えるプログラムと 「食」から自立を支える新サービス

先述の4事業の中でも「ビーナスクラブ」は、運動に特化したデイサービスになります。運動と認知課題を組み合わせ、認知機能の維持・向上を図るコグニサイズや、咀嚼や嚥下の機能を維持・向上するマウササイズなど独自のプログラムを開発。利用者様は国家資格などを持ったスタッフの指導のもと、有酸素運動マシンを使った筋トレや体操に挑戦し、楽しみながら自立して暮らせる体力と精神力を鍛えています。

運動だけでなく、「食」の面からも高齢者の自立した暮らしをサポートするため、新たに配食サービスをスタートさせました。さらに「ビーナスクラブ」では、2020年2月から運動と同時にたんぱく質を摂取し、効果的に筋力アップを図る新サービス「たん活」を開始しました。たんぱく質を補給できるゼリータイプの栄養補助食品の摂取を提案し、栄養面からも高齢者の体力づくりをサポートすることで、「健康寿命」の伸長に貢献していきます。



## 株式会社ビーナス

[会社概要]

2004年に設立以来、「自立実現」を支える運動やリハビリを中心とした施設・サービスを展開しています。「ビーナスクラブ」「ビーナスプラス」「ビーナスケアセンター」「訪問看護ステーション」の他、放課後の子どもの運動と学習を後押しする「ビーナスキッズ」を運営。大阪府下で屈指の施設数を有し、多くの方の健康づくりを支えています。



# スポーツを通じあらゆる人の健康づくりを応援する

## 総合スポーツクラブ

### 地域密着型スポーツ施設として地域の健康づくりに貢献

(株)ブルーアースジャパンは、スポーツ・フィットネスを通じて体を動かす喜びを知り、高齢者から子どもまで誰もが生涯を通じて健康でいてほしいと願い、山梨県を中心にスポーツクラブを展開してきました。地域のどこに住んでいても通いやすく、運動を続けやすい環境を提供するため、山梨県全域、および静岡県に9つの総合スポーツジムを運営する他、官公庁などの各種スポーツ施設の管理・運営も受託。山梨県随一の自社施設数、展開エリアを有する地域密着型のスポーツクラブとして、地域の皆様の健康づくりや交流の拠りどころとなっています。

高齢化が進む現代、年齢を重ねても充実した毎日を送るために健康づくり、身体づくりに努めるシニアのお客様が増えています。総合スポーツクラブでは、ウェイトトレーニングやマシントレーニングの設備の他、スイミングスクール、エクササイズやホットヨガ、ピラティスなどさまざまなスポーツカルチャープログラムを提供し、お客様の幅広いニーズに応えています。

### 高齢者から子どもまで幅広いニーズに応える施設・プログラム

また2016年から「もっと手軽にスポーツジムを利用したい」という新たなニーズに応え、マシントレーニングに特化した24時間365日年中無休のフィットネスジム「MY-BODY」の運営を開始しました。2019年に5店舗、2020年2月に1店舗をオープンし、現在10店舗を展開。山梨県だけでなく東京都、神奈川県、静岡県、長野県にもエリアを広げ、店舗数を増やしています。また、あらたな取り組みとして海外にも進出し、2019年8月にフィリピンのセブ島に海外第一号店をオープンしました。一方、子どもの遊び場や居場所の不足といった社会課題にも応えるため、バレエや柔道などのスポーツや英会話、習字などを習えるアフタースクールの運営にも事業を広げています。

今後も総合スポーツクラブ、「MY-BODY」などの施設数を増やし、地元・山梨県の方々はもちろん、より多くの方に運動を続けながらいつまでも健康を維持していただくために環境・サービスを充実させていきます。



### 株式会社ブルーアースジャパン

#### 【会社概要】

1989年に創業し、山梨県を中心に東京、神奈川、静岡、長野で22の総合スポーツクラブ、フィットネスジムを運営しています。スポーツクラブ事業、スイミングスクール事業の他、子ども向けのスポーツ・座学の習い事も提供。その他有料老人ホームの運営・介護サービス事業や、保育園や子ども教室に関わる保育事業などの新事業も展開しています。

人を育て、人々の生活を支援するセンコーグループ

# 農業で地域社会の豊かな未来をデザインする

SDGsとの関係

植物工場や水耕栽培など先進技術を用いた持続可能な農業に取り組む(株)センコースクールファーム鳥取。設立10年目を迎え、地域社会と密接に連携することで、多様な人材の育成と雇用を創出し、誰もが生きがいや、やりがいを持って働ける社会の実現に貢献しています。



## 地域に密着して農業を展開し 地域になくってはならない存在に

センコーグループが挑戦する新規事業として、2010年、(株)センコースクールファーム鳥取は農業ビジネスに参入し、先進の技術を取り入れた新しい農業を展開しています。廃校になった校舎を活用した植物工場や室内菌床栽培ユニットの他、校庭には水耕栽培用ビニールハウスを設置し、葉物野菜や舞茸・椎茸を生産しています。高齢者や障がい者を雇用した福祉型農業からスタートし、地域の農作業の請け負いや地元農家と連携したタケノコや梨の栽培にも事業を拡大。地域の産業振興と雇用創出になくってはならない企業として、地域の持続的な発展に貢献しています。

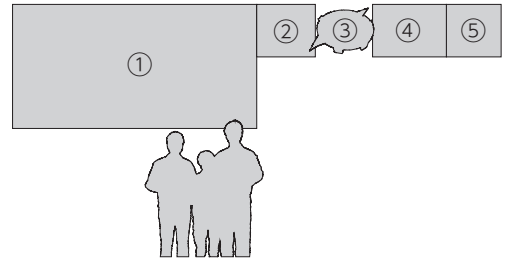


左より、  
(株)センコースクールファーム鳥取 代表取締役社長 大西 毅昌、所長 長谷川 裕子、  
センコーグループホールディングス(株) ライフサポート事業推進本部  
農業ビジネス事業推進部 主任 上田 大夢



## 最新技術を駆使した植物工場で 安全・安心な野菜を安定生産

安定した収益をあげる農業を目指して取り入れたのが、完全閉鎖型の植物工場です。大学との共同研究や実証実験で培ったノウハウをもとに、温湿度やLEDによる分光や光量、CO<sub>2</sub>、養液成分などを人工的にコントロールすることで、季節や天候に左右されず、安全・安心な無農薬野菜の安定的で効率的な生産を実現しました。地元の外食店やホテル、スーパーマーケットなどに販路を開拓する他、センコーグループの物流機能やネットワークを利用して関西エリアのスーパーや外食チェーングループ会社の(株)ライフイーが運営する「すし丸」にも販路を広げています。



- ①ハウスでの水耕栽培
- ②鳥取県地元スーパー（あじそう様）陳列
- ③舞茸寿司（すし丸）
- ④舞茸収穫風景
- ⑤植物工場



## 地産地消を推進し 地域の雇用・産業の創出に貢献

地域とともに発展することこそが重要だと考え、当社は地域の新たな産業の創出にも尽力しています。そのひとつが、地元産タケノコの水煮加工業務を軸にした取り組みです。地元食品加工業者と連携し、地域の放置竹林の整備と地元産タケノコの生産量向上、地元農家の雇用拡大と所得向上を一挙に実現する仕組みを構築しました。さらに加工したタケノコ水煮を学校給食で活用し、地産地消も推進しています。

また特産である梨の農家が減少している現状に目を向け、地元企業と協力して梨栽培も行っています。「梨オーナー制度」を立ち上げて広くオーナーを募ることで、農業とともに観光産業の振興も図っています。



**「梨オーナー制度」で梨園を再生**  
センコーグループやふるさと納税の仕組みを活用してオーナーを募り、梨の栽培事業を軌道に乗せた。



**芝生の手入れ作業**  
芝生を生産。全国のゴルフ場や競技場へ出荷・整備を行っている(株)チュウブ様から除草作業などを請け負い、雇用の拡大につなげている。

## T O P I C S

### 地域の次世代育成に貢献する 農業体験 in(株)センコースクールファーム鳥取

毎年、近隣の小学生が心待ちにしているのが、当社が主催する農業体験です。当社では夏休み期間中を中心に受け入れています。参加した子どもたちは、水耕栽培のビニールハウスで野菜の苗植えや収穫を体験し、採った野菜を食べる喜びを実感するとともに、当社社員によるレクチャーや植物工場見学を通じて農業の未来も学びます。こうした取り組みを続けることで、農業を担う人材の育成に寄与するだけでなく、地域の方々にセンコーグループに親しみを持っていただき、関係を深めることにつなげていきたいと考えています。



# SDGs取り組みにも直結 地球環境保全に貢献するセンコーの「グリーン物流」

物流を担う企業として、センコーグループは環境負荷を最小限に抑える「グリーン物流」をいち早く提唱し推進しています。鉄道・海上輸送の組み合わせやトラックの大型化、物流拠点集約など、CO<sub>2</sub>削減を牽引する取り組みは一般社団法人日本物流団体連合会（物流連）にも認められ数々の賞を受賞。SDGs取り組みとも直結し、お客様から高評価をいただいています。

船舶・鉄道輸送によるモーダルシフトを推進します



## 物流連から「物流環境特別賞」を受賞しました

物流環境大賞は先駆的な取り組みで環境保全や物流業界の発展に貢献した企業を表彰する制度で、センコーグループは第20回物流環境大賞の「特別賞」を2件受賞しています。



2019年6月25日に行われた授賞式

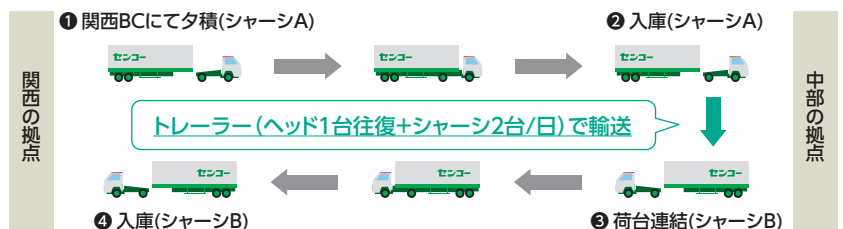


### 住宅内装部材の輸送車両大型化により輸送を効率化

兵庫県と愛知県間の住宅内装部材輸送を大型トラックからトレーラーへ転換。トラック台数削減(50%)による輸送効率の向上と環境負荷低減、ドライバーの省人化が評価されました。



トラック台数を半減 ➡ CO<sub>2</sub>削減量 65t-CO<sub>2</sub>/年 (37%削減)

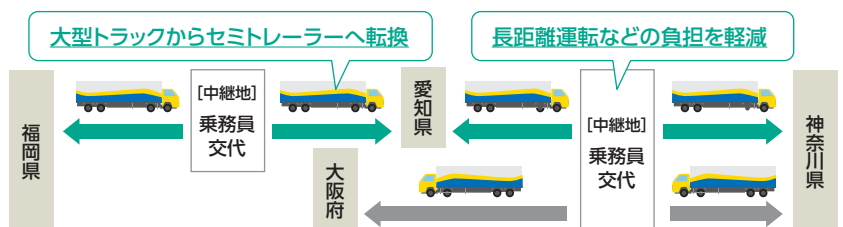


### 食品小口混載便の車両大型化による環境負荷低減

九州と関西、中部、関東間の冷凍・冷蔵食品輸送を、大型トラックからセミトレーラーへ転換し輸送を効率化。CO<sub>2</sub>削減とドライバー不足への対応が評価されました。乗務員が日帰りできる体制づくりなど働き方改革にも取り組んでいます。

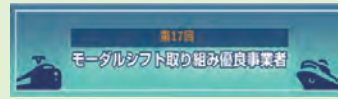


台数26%削減 ➡ CO<sub>2</sub>削減量 358t-CO<sub>2</sub>/年 (20%削減)



## 「モーダルシフト取り組み優良事業者」として4件が受賞

センコー(株)が「改善部門」「有効活用部門」各1件、(株)ランテックが「有効活用部門」、東京納品代行(株)とアクロストランスポート(株)が共同で「有効活用部門」を受賞しました。

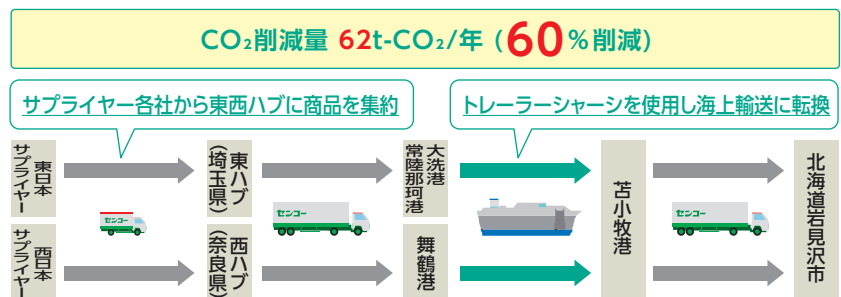


2019年11月25日に行われた  
モーダルシフト取り組み優良事業者表彰式



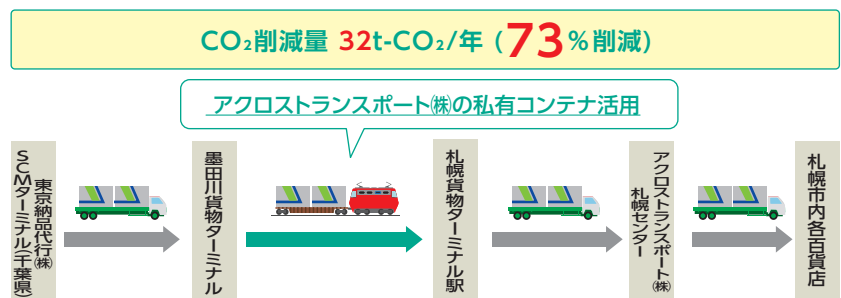
### 拠点集約で輸送の大型化を図り海上輸送に転換

各地から北海道への住宅建材輸送において、東西中継所を設置。輸送集約することでトラック輸送からRORO船やフェリーによる海上輸送への転換を実現しました。



### 私有コンテナの空スペースを活用、鉄道輸送に転換

千葉県から北海道へのアパレル商品輸送に、アクロストランスポート(株)の私有コンテナの空スペースを東京納品代行(株)が活用。10tトラック91台分の輸送を鉄道へ切り替えました。



## C S R V O I C E



なかばやし けんじ  
仲林 謙治

センコー株式会社  
安全品質環境管理部長  
(兼)環境推進グループ長

### SDGs実現に向けた環境保護活動を、 センコーグループ全体で推進しています

グローバル社会では、SDGsやESGに対する企業の取り組みに注目が高まっています。センコーグループでは、「サステナブル(持続可能)」をキーワードに、企業価値を向上する取り組みを推進。個別には、『温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出削減』をテーマに目標を設定し、CO<sub>2</sub>排出係数の少ない電力会社への切り替え、環境優良トラックの導入、資源循環型社会形成、グリーン物流の提案を進めています。また昨年度、生物多様性保全の取り組みを新たに開始しました。これらを複合的に組み合わせながら、企業使命としての環境保護と向上に努め、センコーグループ全体で、SDGs実現に向けた活動を推進してまいります。

## センコーグループ環境方針

### 環境理念

次世代へと継承していくべき地球が、豊かな自然環境に恵まれ続けるために、センコーグループは「環境先進企業」を目指し、すべての事業活動を通じて、自主的かつ積極的に環境負荷低減活動、資源の効率的利用などの環境保全活動を継続的に取り組み、将来への責任、社会からの期待に応えます。

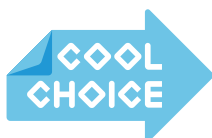
### 基本方針

- 1 環境に関連する法規制、条例、協定および、社内規則を順守し、「良き企業市民」として主体的、継続的に環境保全活動に努めます。
- 2 経営トップ自らが、「環境目標」を定め、環境活動推進体制の整備、環境管理規程の整備を図り、継続的な環境パフォーマンス向上に努めます。
- 3 物流企業としてお客様の「調達から廃棄」までの効率的な環境負荷低減物流の支援はもとより、商事、情報、その他関連事業などにおいても、商品のライフサイクルの視点に立った環境負荷低減活動に努めます。
- 4 センコーグループの全従業員および、委託する協力会社に対し「環境目標」の周知および、啓発活動に努めます。そして、ステークホルダーに対し、積極的に環境活動情報の開示に努めます。

## 環境省主導の「COOL CHOICE」への賛同と環境マネジメントシステムの推進

センコー(株)では、2018年度より環境省が主唱する地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」に賛同。ライトダウン・キャンペーン等の全国で開催される環境取り組みに参加しています。

また、環境活動の国際規格である「ISO14001」、国土交通省所轄の交通エコロジー・モビリティ財団の「グリーン経営認証」を取得し、環境マネジメントシステム規格が求める環境負荷低減活動を展開しています。



**ISO14001**  
 ● 認証取得組織  
 センコー(株)4支店  
 三協貨物株  
 ● 認証番号  
 JQA-EM1492  
 ● 認証機関  
 JQA (日本品質保証機構)



**ISO14001**  
 ● 認証取得組織  
 株式会社  
 ● 認証番号  
 YKA0772699  
 ● 認証機関  
 LRQA (ロイド レジスター クオリティ アシュアランス)



**ISO14001**  
 ● 認証取得組織  
 ハーコプ(株)  
 ● 認証番号  
 EMS542855  
 ● 認証機関  
 BSIグループジャパン



**グリーン経営認証**  
 ● 認証取得組織  
 センコー(株)9事業所、センコー汽船(株)  
 旧センコーファッション物流(株)、厚木センコー運輸(株)  
 南大阪センコー運輸整備(株)  
 中四国ロジスティクス(株)、栄吉海運(株)  
 ● 認証機関  
 (公財)交通エコロジー・モビリティ財団

# 環境目標と成果

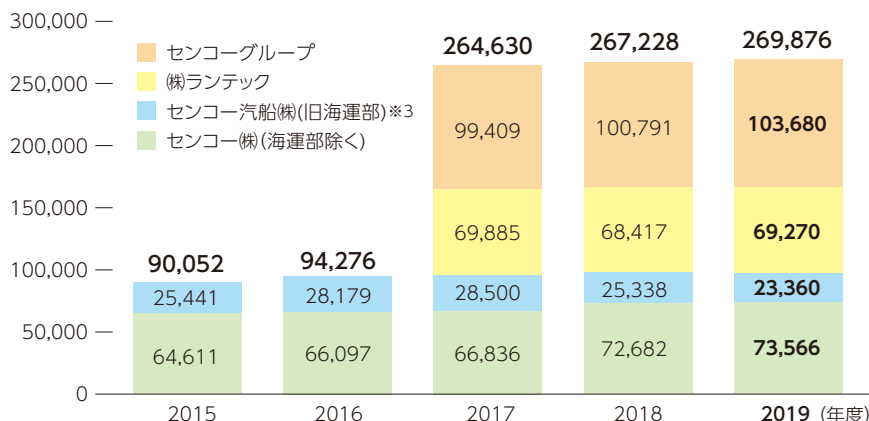
## CO<sub>2</sub>削減の取り組みと実績

センコーグループでは、事業活動で発生するエネルギー使用量及びCO<sub>2</sub>排出量を把握し、その結果を環境保護活動に反映させています。現在、環境負荷低減に向けてさまざまな取り組みを継続し、2017年度からスタートした中期経営5カ年計画のCO<sub>2</sub>削減目標(センコー(株)単体で5年間累計8,310トン以上削減)の達成を目指します。

※1 燃料使用量は、原油(kℓ)換算 ※2 日本マリン(株)、栄吉海運(株)除く ※3 Scope 1・2を集計

[ センコーグループCO <sub>2</sub> 発生源別内訳 ]	INPUT		OUTPUT		
	電力使用量 万kWh	燃料使用量 kℓ	電力 t-CO <sub>2</sub>	燃料 t-CO <sub>2</sub>	計 t-CO <sub>2</sub>
センコー(株)	7,306	14,378	35,836	37,730	73,566
(株)ランテック	3,743	19,420	17,664	51,606	69,270
センコー汽船(株)	0	8,624	0	23,360	23,360
他物流グループ 商事・ライフ・ビジネス各社	2,983	33,231	15,873	87,807	103,680
合計	14,032	75,653	69,373	200,503	269,876

[ センコーグループ※1 CO<sub>2</sub>排出量※2 ] (単位:t-CO<sub>2</sub>)



※1 日本マリン(株)、栄吉海運(株)除く ※2 排出量はScope 1・2を集計  
※3 センコー汽船(株)は2018年度よりセンコー(株)より分社化

### CO<sub>2</sub>削減の取り組み

目標達成率 **84%**

事業拡大に伴いCO<sub>2</sub>排出は増える傾向にありますが、下記の取り組みにより4,113t-CO<sub>2</sub>を削減できました

[ 2019年度のCO<sub>2</sub>削減目標と実績 (センコー(株)単体とグループ59社) ] (単位:t)

重点実施項目		会社区分	2019年度CO <sub>2</sub> 削減目標	2019年度CO <sub>2</sub> 削減量	達成率
自社努力	省電力	センコー	2,555	2,010	79%
		グループ	625	497	80%
		合計	3,180	2,507	79%
	省燃料	センコー	457	484	106%
		グループ	946	868	92%
	合計	1,403	1,352	96%	
循環型社会	センコー	143	127	89%	
	グループ	189	127	67%	
合計	332	254	77%		
合計		センコー	3,155	2,621	83%
		グループ	1,760	1,492	85%
		合計	4,915	4,113	84%
顧客に返すCO <sub>2</sub>	グリーン物流	センコー	1,173	925	79%
		グループ	364	243	67%
	モーダルシフト率		70%	70%	100%

## 環境負荷低減への取り組み

### 環境優良トラック導入推進を加速化

センコーグループでは、CO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>排出が少ない環境優良トラックを導入して、低炭素社会の創出を促進しています。2019年度、センコーグループでは、電気トラックを2台、ハイブリッドトラックを14台導入。(株)ランテックに導入された大型ハイブリッドトラックでは、冷凍冷蔵装置も回生した電気エネルギーを冷凍機と車輛走行の動力に使用しています。



(株)ランテックで  
2019年度導入された  
大型ハイブリッドトラック



東海センコー運輸(株)で  
2019年度導入された  
小型ハイブリッドトラック

### 省エネ型照明の導入・代替を推進

物流センターでは、従来の水銀灯に比べ消費電力で75%削減と言われるLEDなど高効率照明を積極的に導入し、代替を推進しています。2019年度は、4拠点で経済産業省の助成金を活用しながら、LED照明に代替。エネルギーの効率的・効果的な活用を加速しています。



助成金を活用して100%LED照明化を達成した、浦和PDセンター

### 省エネ型ノンフロン冷媒飲料自動販売機設置を展開

(株)スマイルでは、ノンフロン型のヒートポンプ式飲料自動販売機を取り扱っています。オゾン層破壊防止に寄与するだけでなく、消費電力を従来機種比で30%削減できる効果を併せ持っています。2019年度は、センコーグループ事業所内を中心に108台設置。職場の省エネ取り組みに寄与しています。



センコーの物流センターへの設置が進む(株)スマイル取り扱いの省エネ型  
ノンフロン冷媒飲料自動販売機

### センコーグループで『ライト・ダウン』キャンペーンに参加

センコーグループでは、夏至の日(2019年は6月21日)、七夕の日(7月7日)にライトアップ施設や家庭の照明の消灯を呼びかける「ライト・ダウンキャンペーン」を展開。2019年度は、2日間で延べ19事業所でライト・ダウンを行いました。また、従業員の家庭でも参加を呼びかけ協力いただきました。



東京納品代行(株)東京ベイファッションアリーナの  
消灯前(上段)と消灯後(下段)

## 物流センター屋根上を活用して、太陽光発電事業を展開、再生可能エネルギーを提供しています

センコーグループは、再生可能エネルギーの普及促進に向け、太陽光発電事業を2013年度から開始、各電力会社へ供給しています。2019年度は、(株)ランテック関西支店でグループ初の大型自家消費拠点が稼働。クリーンエネルギーをお客様の保管貨物に提供します。2020年度は、(株)ランテックの新・門司支店(北九州市門司区)で0.6MW規模の太陽光自家消費と60kWh大型蓄電池を設置。雨天・夜間時もクリーンエネルギーを活用します。

発電出力 2018年度比 **1.0MW** 増  
 全国21拠点で **16.5MW** の出力で発電しています

※経済産業省確認ベース



2019年7月稼働の(株)ランテック 関西支店  
 (センコーグループ初の大型自家消費拠点)

### センコーグループの国内太陽光発電拠点(2020年度)

2020年度は、  
 太陽光発電拠点は  
 全国で22カ所となります。  
 (内、2カ所は自家消費)

(株)ランテック 新・門司支店



● 稼働済の拠点

★ 2020年4月



2020年4月稼働の(株)ランテック 新・門司支店

#### [ 2020年度の設置計画 ]

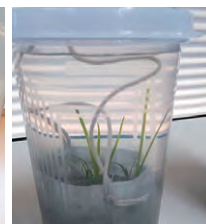
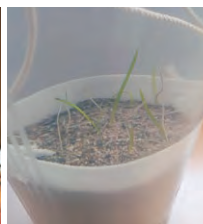
拠点名	稼働時期	所在地	発電能力
(株)ランテック 新・門司支店	2020年4月	北九州市門司区	618kW (蓄電池)60kWh

## 生物多様性保全に向けた取り組みを開始

センコーグループでは、2019年度より、生物多様性保全に向けた取り組みを開始。物流センター内に若木を植える『環境植樹』取り組みでは、センコー(株)9支店、4グループ会社で実施しました。職場コミュニケーション向上と地域社会にも寄与、「緑」を次世代に引き継いでいきます。また、地域の環境保護団体と共同で、「大阪湾再生プロジェクト」に賛同。その一環として海草『アマモ』をポットの中で育成後、海に帰して生物の住みかづくり協力しています。2019年度は35セットを配布、従業員の家庭で種から育成していただいています。



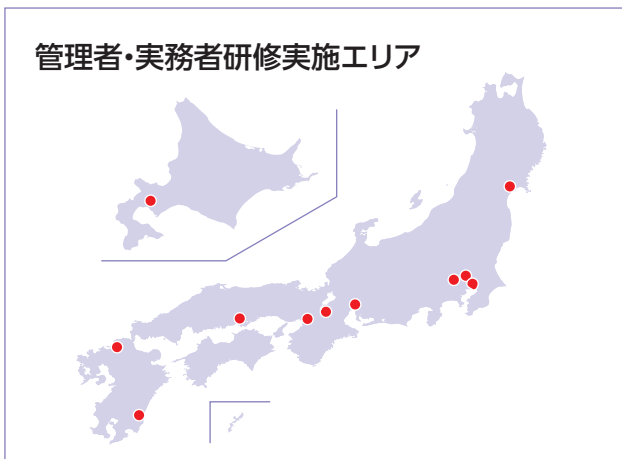
センコーグループ物流センター構内で『環境植樹』を展開



海草『アマモ』を各家庭で育苗

## グループ間の安全衛生取り組み

センコーグループ内物流企業のコンプライアンス遵守に対する取り組みを強化するために、貨物自動車運送事業者として守るべき関係法令や社内規定などに関する管理者・実務者研修を全国11ブロックで行っています。



現地管理者との対面実習訓練場面

## 危険品の全国管理体制

「危険品エリア責任者」を全国12エリアに配置。危険品に関する情報共有を行い知識・技能の強化を図っています。社内認定試験制度による厳しい試験に合格したドライバーのみ、タンクローリーへの乗務を行っています。さらに、認定者には「1回／5年」の更新訓練を行い、安全・品質意識の向上を図っています。危険品の取り扱いにおいては、輸送安全を追求するさまざまな教育・研修機会を設けるとともに、より安全な職場環境の整備に力を注いでいます。



被液体験訓練



各種バルブ操作訓練

2019年度社内資格認定者

テクニカルマスター(TM)    テクニカルコーチ(TC)    テクニカルプロドライバー(TP)

**14名**

**15名**

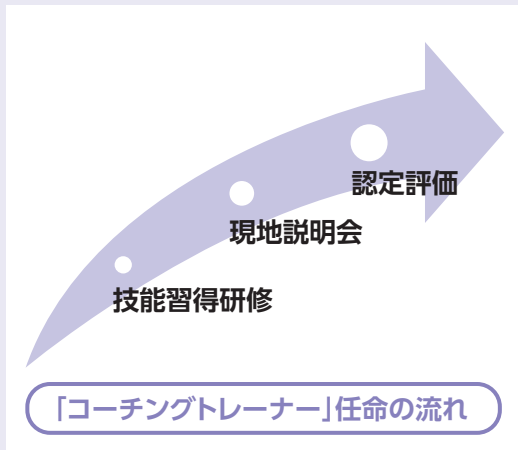
**217名**



## 中間層への新たな教育

### コーチング手法導入

2019年度  
「コーチング手法」による指導法の全国展開

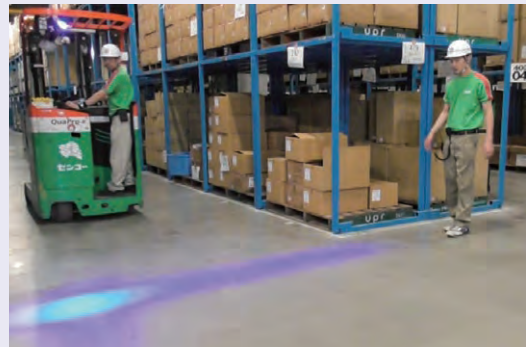


インストラクターによる実技研修

## 先進技術の導入

### ラインライト

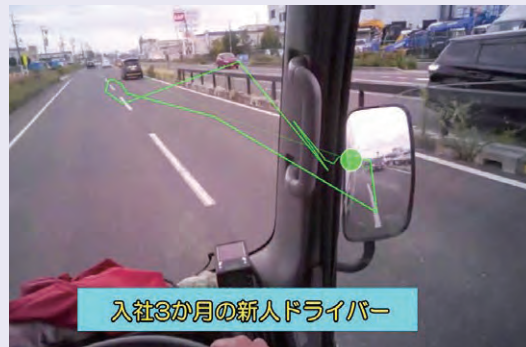
作業員目線でリフトの存在を知らせる  
ラインライトを導入



リフトと歩行者の接触防止

### アイトラッキングシステム

アイトラッキングシステムにより  
事故防止スキルを向上



入社3か月の新人ドライバー

ドライバーの視線を計測し、安全教育や人材育成に活用

## C S R V O I C E



いとう たかみ  
伊藤 隆巳

センコー株式会社  
安全品質環境管理部  
安全衛生管理グループ長

### 職場の安全意識の動機付けを行うため、 新たな取り組みにチャレンジしています

2019年度は、一昨年からモデルエリアでテスト運用してきた「経験のあるドライバーへの安全運転教育手法:コーチング」のスキルを全国展開すべく、各ブロックで安全運転トレーナーへの実技研修会を実施してきました。

また、働き方改革、健康に起因する事故・労災の防止を図り、企業としてのコンプライアンスをより進めるため、管理者・管理監督者の法的知識や社内管理システム等の理解度を高め、より適正な管理を図るべく、全国11ブロックで劇場型研修会を実施してきました。

今後もCSRを果たすため、諸課題に取り組んでまいります。

## センコーグループ安全方針

### 安全理念

「人間尊重」と「すべてに優先する安全」の精神のもと、『完全<sup>ゼロ</sup>0災職場の確保』を実現する。

1. あらゆる事故・災害は防止することができ、また防止しなければならない。
2. 管理者は従業員の安全に対する責任を負う。
3. 全従業員が「あらゆる事故をなくするのだ」ということを信条にしなければならない。
4. 安全は高品質と高生産性を確保する。

### 基本姿勢

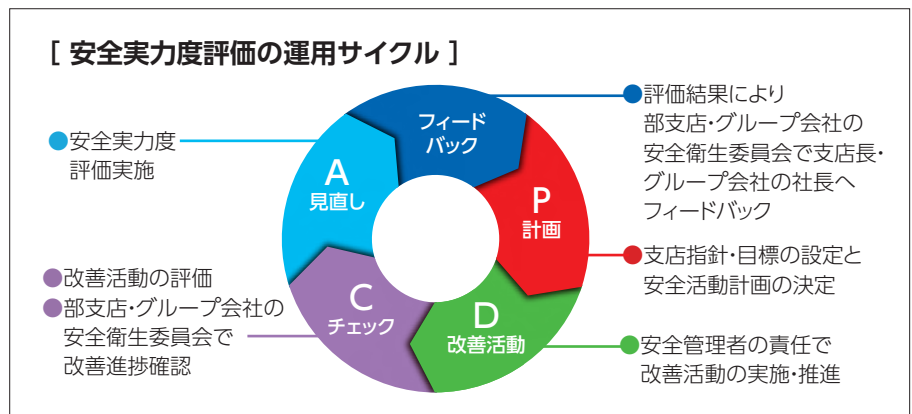
- ◎私たちセンコーグループは、物流事業の社会的使命を深く認識し、事業活動における安全確保が事業の根幹であることを、全従業員が正しく理解し、安全の向上に寄与する取り組みを推進する。
- ◎経営トップは、現場からトップまでが一体となって事業活動における安全の確保と安全性の向上に努めるよう積極的に主導する。
- ◎安全の基本は、健康な心身であることをセンコーグループに働く者1人ひとりが強く意識し、適切な健康管理を実践する。

### 重点施策

1. 関係法令を遵守し、社会的責任を果たす。
2. リスクアセスメントを徹底し、あらゆる安全リスクを低減する。
3. 健康管理体制の充実と自主健康増進によって「健康障害」を防止する。
4. 安全衛生活動に関する情報について積極的に公表する。

## 安全マネジメントシステムの推進

法令に則った「安全実力度評価」(内部監査)を毎年実施し、改善進捗状況を改善ランキング表にまとめ、支店長やグループ会社の社長に定期的に配信しています。具体的な結果を地域のマネジメントにつなげることで課題解決のPDCAサイクルを回し、安全を担保しています。



## 安全目標の達成状況(2019年度)

目標が未達成となったため、新たな対策を策定し推進します。

	2019年度目標	2019年度実績
車両事故度数率	0.31以下	0.59
労働災害度数率	1.14以下	2.31

### < 重点対策 >

- さまざまな事故分析に基づく、実効のある防止対策の実施
- 物流グループ内の連携による安全水準のさらなる向上
- 本質改善に向けた環境整備と効果検証に基づく先進技術の積極的導入
- 各種安全管理システムの運用強化とチェック強化による安全取り組み履行体制の強化

## 安全中期目標(2017年度～2021年度)

車両事故、労働災害  
「2016年度から半減」を  
目指します

### ●車両事故度数率(道路上の事故)

2019年度実績      2021年度目標  
**0.61 / 0.53** → **0.25**以下  
(物流グループ)      (センコー株)      (センコー株および物流グループ)

### ●労働災害度数率(休業4日以上の方災)

2019年度実績      2021年度目標  
**2.49 / 1.71** → **0.95**以下  
(物流グループ)      (センコー株)      (センコー株および物流グループ)

※物流グループには、新たに加わった会社は含みません。

## 「安全性優良事業所」認定取得

センコーグループは、安全マネジメントシステムに沿った安全活動の一環として、全事業所での「安全性優良事業所認定\*」の取得を目指し取り組んでいます。

2020年3月末現在で99%(前年比1%増)の事業所が認定を受けています。

### ※安全性優良事業所認定:

交通安全対策などの取り組みが一定の基準をクリアしたと判断された事業所に対して(社)全日本トラック協会が認定する。



(社)全日本トラック協会が発行するGマーク

グループ全体で  
**99%**の事業所が認定



## Only One企業になるためのRSG活動

(株)ランテックで実施している、RSG (RUNTEC SAFETY GROUP) 活動とは、従業員5名～10名からなるグループで、事故防止対策、業務の効率化、職場環境の改善などの問題点を見つけ、自主的に活動に取り組むグループ活動です。全国約380グループから選抜された12グループが1年間の成果を発表します。

また、2019年度の目標「前年度各種事故発生件数の10%削減および重大事故ゼロ・残酒反応ゼロ」を達成するため、各種安全研修や活動に励みました。



RSG全国発表会



### 安全研修および活動の一部

安全運転研修	5回/年	入社5年未満のドライバーを対象に実施
リーチマン研修	5回/年	役付候補者の商品管理職を対象に実施
現業職研修	2回/年	リーダー、役付候補者を対象に実施
事故発生者研修	1回/年	加害事故惹起ドライバーを対象に実施
ドライバー・リーチマンコンテスト*	1回/年	各事業所より選抜された優秀者が参加
交通安全運動他	4回/年	春・夏・秋・年末年始に開催
RSG全国発表大会	1回/年	約380グループより選抜された12グループが参加
こども交通安全教室	6回/年	事業所近隣小学校1～2年生を対象に実施
学童誘導および道路清掃活動	1回/週	事業所近隣小学校通学路で実施

\*19年度は新型コロナウイルスの影響のため中止



安全運転研修



リーチマン研修



学童誘導



基本動作などの教育実施

## AIドライブレコーダーの導入

安全輸送(株)では、課題であったドライバー出庫後の管理のため、AIドライブレコーダーを導入しました。急ブレーキや急ハンドル時にアラームを鳴らし、その映像を記録することで、ドライバーと管理者が離れていても、映像に基づき、より具体的な安全運転指導を可能にしました。



新人ドライバーや事故惹起者への継続的な指導を可能にしました



離れていても、急ブレーキなどの状況確認を可能にしました

## 3社合同地区訓練の実施

全国各地にあるグループ会社の立地を利用し、近隣にある東京納品代行(株)、センコーエーラインアマン(株)、センコーファッション物流(株)の3社で合同地区訓練を実施しました。トレーナー5名、受講生13名で、朝礼訓練、必須項目(後退事故撲滅に向けて)、日常点検等を実施しました。



地区訓練の様子



## 特別安全強化活動の実施

左記3社にアクロストランスポート(株)を加え、7月と12月にそれぞれ1カ月間、特別安全強化活動を行いました。啓発ポスターには、各社の従業員の子どもたちから募集した絵画を掲載しました。



啓発ポスター

## 「健康経営優良法人～ホワイト500～」に 3年連続で認定

センコーグループでは、従業員の健康増進を経営の重要課題として捉え「センコーグループ健康経営宣言」を社内外に発表し、健康増進活動を長年推進しています。

こうした取り組みが評価され、2020年3月2日、経済産業省と日本健康会議が共同で優良な健康経営を実践する企業を顕彰する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門(ホワイト500))」に3年連続で認定されました。



### 健康に“生き活き”働ける企業を目指します

#### 「健康経営」の主な取り組み

##### 生涯を通じた健康づくりの推進

ヘルスリテラシー\*向上のためのセミナーをさまざまなテーマで開催しています。2019年度は女性従業員向けに「働く女性のための健活セミナー」を全国3カ所で開催しました。

また、各職場でも健やか活動イベントとして、バレーボール大会などを開催し、クラブ活動も積極的に行っています。東京本社ビルでは2019年にテニス部を発足しました。

\*ヘルスリテラシー:自分にあった健康情報を探し理解し、自らのヘルスケアや病気の予防などに結び付く行動ができる力



テニス部活動の様子

##### 看護職による健康サポート

全国13エリアの主な事業所に看護職(保健師、看護師)を計22名(2020年4月現在)配置し、専門的な健康指導や従業員の心身のサポートを行っています。

2019年度は「健康管理システム」を導入し、定期健康診断結果や保健指導記録などを一元管理することで、同レベルでグループ全従業員の健康管理ができるようになりました。



全国各地に駐在する看護職

#### センコーグループ健康経営宣言

センコーグループは、従業員の健康について次の通り宣言します。

- ◎「人を育て、人々の生活を支援する企業グループ」であり続けること。
- ◎グループ従業員1人ひとりが健康で生き活きと働くことができること。
- ◎そして、人生いつまでも元気で幸せな生活を送ることが、何よりも重要であること。

この考えのもと、センコーグループは従業員の健康増進に取り組み、「未来潮流を創る企業グループ」として、真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します。

センコーグループホールディングス株式会社 代表取締役社長 福田 泰久

## グループ会社でも健康経営に取り組んでいます

「健康経営優良法人2020」中小規模法人部門で、豊橋センコー運輸(株)とハーコブ(株)が2019年に続き認定されました。今後も、グループ各社の従業員の健康増進に向けた取り組みを支援・拡大していく考えです。

### 各社の「健康経営」取り組み

#### 「健康経営優良法人2020」中小規模法人部門 認定会社

##### 豊橋センコー運輸(株)

健康イベントを通じコミュニケーションの活性化を図る

「健康経営優良法人2019」の認定を受けたことで健康に係る企業から提案をいただくようになり、さらに従業員の健康を意識することが増えました。2019年度は運動機会を増やすこととコミュニケーションの活性化を図るため、スポーツクラブのトレーナーをお呼びして職場や自宅でもできるさまざまなストレッチを学びました。家族も含め多くの人に参加し、自身の体と向き合うきっかけづくりになりました。



すこやか活動懇親会



##### ハーコブ(株)

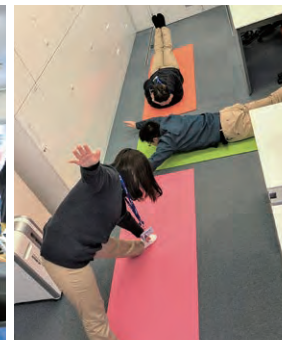
毎年新たな取り組みに挑戦!

すこやかニュース定期発行など従来の活動に加えて、健診後の再検査受診勧奨を強化しました。また、禁煙活動、15時からのヨガマット体操を取り入れ、健康意識を高めました。

また、2020年度からは会社として定休日やノー残業デーを設定し、働き方改革にも取り組みます。女性スタッフも多い職場のため、女性特有の病気の健診も年齢関係なく受診できるようになりました。



毎日15時からの体操の様子



## C S R V O I C E



ふるや こういち  
古屋 浩一

センコーグループホールディングス  
株式会社  
管理本部 健康推進部長

### 「心と体の健康管理」

#### 取り組み目標とメニューを自ら決め実践する

2020年に入り新型コロナウイルスが世界規模で流行し、健康維持の難しさを痛感しています。感染しないための手洗い、させないための咳エチケット。当たり前のことも、習慣がないと難しいことです。健康維持・増進の基本、「日頃から職場環境改善に積極的に取り組み、従業員が働きやすい環境を維持する。」「従業員はバランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠を心がける。」が、生き生きと働き続けるためには不可欠です。今年から「取り組み目標とメニューを自ら決め実践すること」をグループ全体で推奨し、個人の意識向上を図っています。今後もさまざまな取り組みを通じ、健康推進に関わる者がワンチームで健康経営企業を目指します。

## 地域・社会貢献の促進

### グループ内の社会貢献活動を評価し、優れた取り組みを表彰

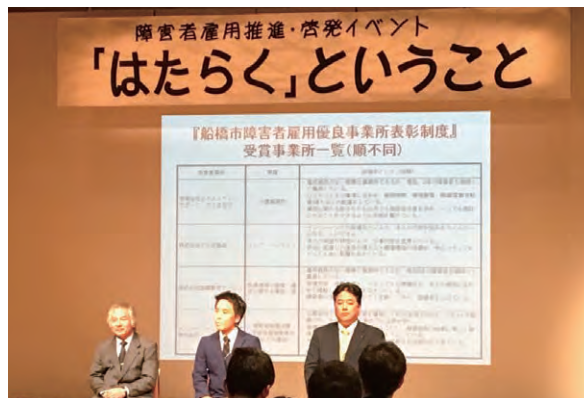
センコーグループでは、「社会貢献活動表彰」の制度を2016年度に設け、優れた取り組みを表彰しています。2018年度はグループ各社から推薦された社会貢献活動を「社会貢献推進委員会」が審査し、最優秀賞に1チーム、優秀賞に2チームが選出されました。



センコーファッション物流(株)・東京納品代行(株)  
合同5社安全協議会

### 「積極性と継続性を評価」

「こども交通安全教室」の積極展開と継続的な障がい者雇用などにより、最優秀賞を受賞しました。



千葉県、船橋市それぞれから「障がい者優良事業所」として表彰されたことから、過去12年間の活動について講演した様子



優秀賞には(株)センコー学校ファーム鳥取とセンコー(株)東北主管支店が選ばれました。(株)センコー学校ファーム鳥取は母子生活支援施設を利用する子どもたちや地域の小学生を中心とした農業体験の提供の継続性が評価されました。センコー(株)東北主管支店はアルミ缶を収集し、交換した車椅子の寄贈、宮城県の千年希望の丘植樹祭に参加し1万本の植樹を行うなど、活動の多様性と継続性が評価されました。

### (株)センコー学校ファーム鳥取



農業体験の様子

### センコー(株)東北主管支店



千年希望の丘へ1万本の植樹



## 産学協同プロジェクト

### 多摩美術大学と協同で、 「ホテル<sup>かいえ</sup>権会アートコンペティション」を開催

2020年2月、東京・潮見に開業した「ホテル権会」に、多摩美術大学の学生により制作された65点の織物や染め物、イラスト作品が展示されました。芸術家養成の一助になればと、未来に羽ばたこうとする学生への作品展示スペースの提供を、ホテル権会から同大学に持ちかけ実現しました。グランプリには「Echoes 響く」(ヤエル・ハルニク氏作/イスラエル)が選ばれ、1階エレベーターホールに展示されました。

また、東京コミュニケーションアート専門学校との協同プロジェクトである、全国47都道府県を擬人化したイラスト作品も2階の客室廊下に飾られました。ホテル権会では今後も継続的に若手芸術家に作品発表の場を提供してまいります。



多摩美術大学との産学協同プロジェクト「アートコンペティション」の表彰祝賀会



ホテル内に展示された受賞作品の数々

## C S R V O I C E



やまざき まこと  
**山崎 真人**  
センコー株式会社  
執行役員総務部長

### 豊かな社会の実現につながる 貢献活動を継続します

センコーグループの社会貢献活動は、地域社会との連携を図りながら、多様性を尊重し、次世代育成とスポーツ・文化の振興を通じて、豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。グループ共通活動であるこども交通安全教室は、2019年度も全国20拠点で開催し1,922名の方の参加をいただきました。またクレフィール湖東内のこども交通公園は2016年の開業以来、最多となる3万6千名を超える来場者をお迎えし、地域の交通安全教育の一翼を担っています。さらに女性の活躍支援のために全国6拠点での託児所の運営や、柔道やゴルフ、囲碁等を通じたスポーツ・文化の振興を図るなど積極的な活動を展開しています。

## テレワーク・デイズ

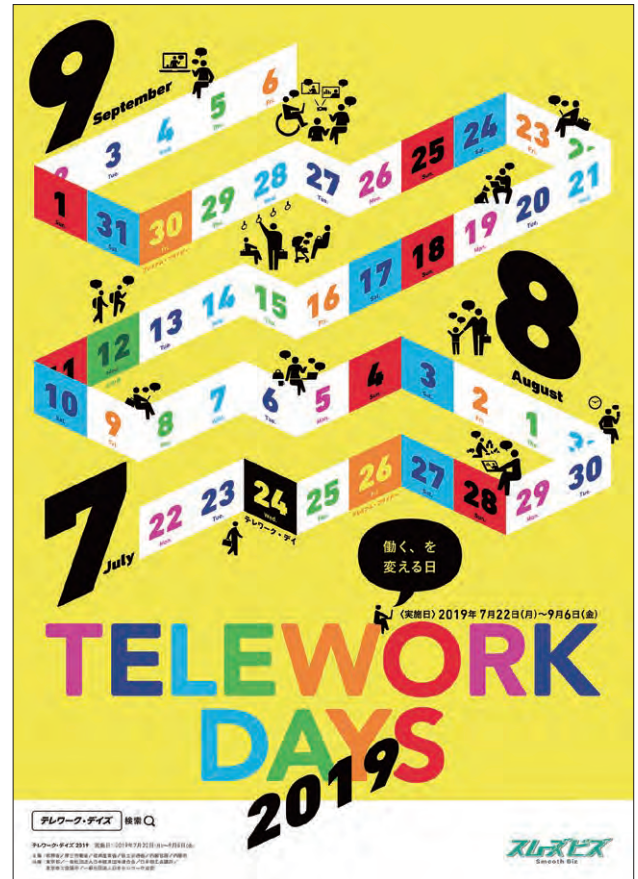
センコーグループでは、2018年から総務省や厚生労働省などの関係省庁が展開しているテレワーク・デイズに賛同し、継続して取り組んでいます。特に2019年は、働き方改革の実行への、ひとつの答えとして機能するテレワークに注目し、東京・大阪の本社を中心に、2018年から大幅増の130名(延べ331名)がテレワークを実施しました。

センコーグループでは今後も、多様な働き方が可能な環境整備を進めます。

参加人数 **130名**  
 延べ人数 **331名**  
 参加部門数 **36部門**



テレワークの様子



## 障がい者雇用の推進

センコーグループは、社会のすべての人々の生活に貢献し、信頼される企業をめざす中、(株)センコースクールファーム鳥取(特例子会社)の開設をはじめ、障がい者雇用に力を入れ、多様な従業員の方が活躍できる取り組みを進めています。

常に法定雇用率を上回る人数を受け入れており、多くの障がい者の方々が、さまざまな職場で活躍しています。

[ 障がい者雇用率の推移(各年6月現在のデータ) ]



※数値はセンコー(株)のものです

## 地域社会との連携

### 全国で交通安全教室を開催

従来からの「こども交通安全教室」をクレフィール湖東や、各拠点で開催するほか、小中学校での「出前授業」を2014年度から継続し、多くの方にご参加いただいています。

交通安全の大切さを楽しく学んでいただくためプログラムも工夫。出前授業では、子どもたちが安全な渡り方を考え歩道を横断、トラックの乗車体験を通じドライバー目線での死角を実際に体験。子どもにも保護者にも喜ばれる授業となっています。

**20拠点**で開催し、  
**1,922名**の皆さまに  
ご参加いただきました



センコー(株)東九州業務センター開催のこども交通安全教室



センコービジネスサポート(株)延岡警察署交通課警部補を招いて新人社員研修



クレフィール湖東横断歩道の歩き方

### 託児所を運営し地域に貢献

センコーグループでは現在6カ所の託児所を運営しています。この施設はグループの従業員以外のお子様の受け入れや認可外保育施設として2019年10月より3歳～5歳保育の無償化を開始するなど、地域の皆さまにも喜んでいただいています。



避難訓練をする子どもたち



クリスマスパーティ

### 清掃活動、献血活動に積極的に参加

清掃活動は、普段利用する道路への感謝の気持ちを込めて行っている地域貢献活動です。2019年度は14,619名が参加しました。

献血活動については、2018年度を上回り、2017年度の過去最高参加人数に次ぐ1,129名参加となりました。



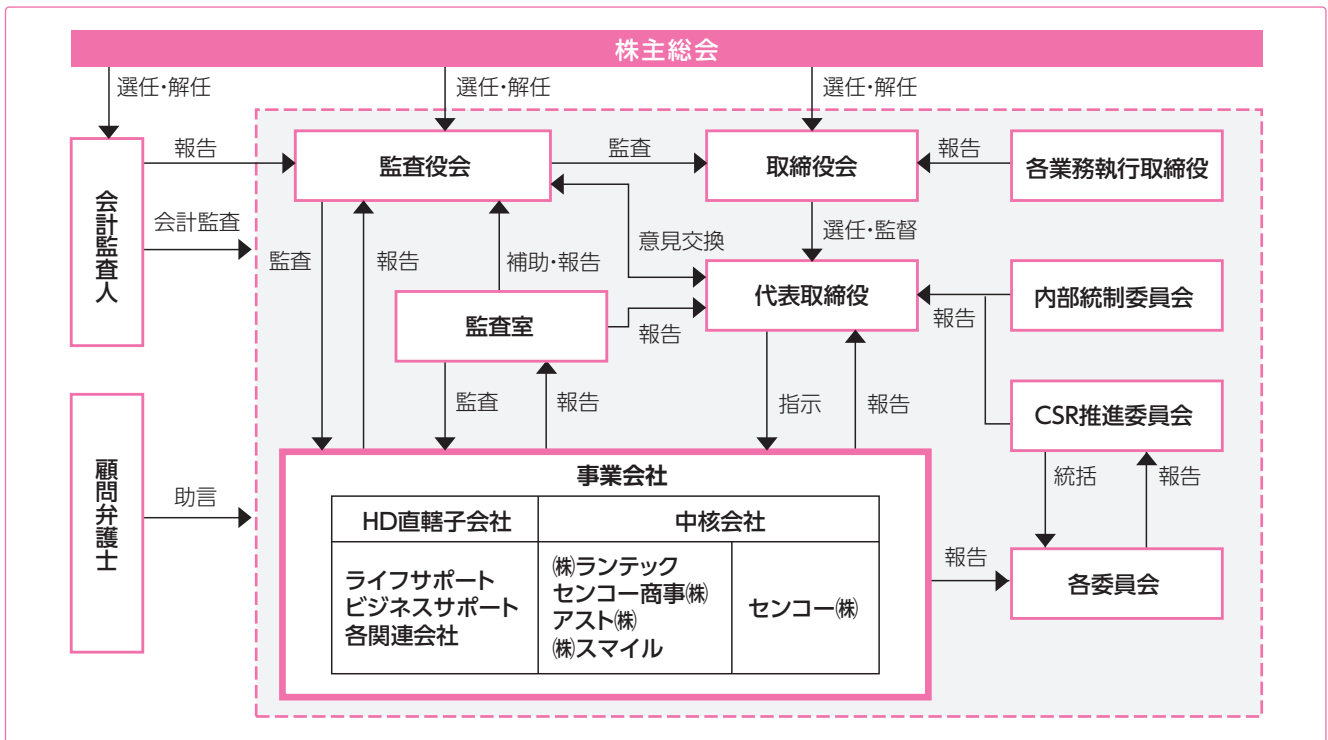
京滋地区での合同献血活動



センコー東京本社での清掃活動

## コーポレート・ガバナンスの考え方と体制

センコーグループは、公共性の高い物流事業を行う企業として、コンプライアンス（法令遵守）に徹した事業活動こそが、企業の社会的責任を果たし、信頼を得ることにつながると考えています。そのため、コーポレート・ガバナンスを経営の最重要課題のひとつに位置づけ体制の強化に努めています。



## コーポレート・ガバナンス・コードへの対応

金融庁と東京証券取引所は、実効的なコーポレート・ガバナンスの実現に資する主要な原則として「コーポレート・ガバナンス・コード」を取りまとめ、2015年6月から適用を始めました。これを受けて、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組む姿勢を明確にするため、コーポレート・ガバナンス・コードのすべての項目をWEBサイトで開示しています。

以下詳細はWEBサイトをご覧ください



●コーポレート・ガバナンスに関する報告書 ●コーポレート・ガバナンス・コード各原則への取り組みについて

<https://www.senkogrouphd.co.jp/ir/governance/>

## コンプライアンス経営

法令を遵守し倫理にかなった事業活動を行う「コンプライアンス経営」は、企業が社会的責任を果たし、ステークホルダーの皆さまから信頼を得るために最も基本的なことです。

センコーグループでは、すべての役員、従業員が社会的責任を深く理解し、企業活動のあらゆる場面で遵守すべき事項を「センコーグループ企業行動規準」として定めています。

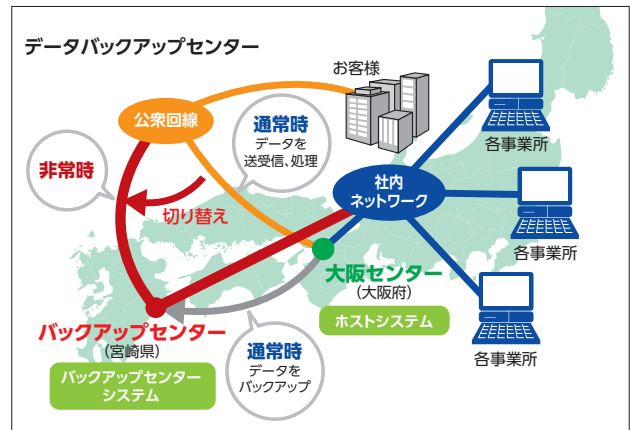
## リスク管理体制の強化

事業上起こりうるリスクに万全を期すために、緊急事態には人命優先、物的損害の軽減、業務の早期再開、社会的信用の維持、地域社会への貢献の観点で対応する体制を築いています。

### BCP (事業継続計画) の整備

災害時に事業を迅速に復旧させるためのBCP (事業継続計画) を、グループの拠点ごとに構築しています。緊急時にはBCPに基づき本社と現地の対策本部長による指揮で支援活動と復旧活動が迅速に行われます。

データセンターが被災した場合に備えた、データバックアップセンターでは災害でサーバーが停止した場合も30分以内にシステムが復旧し、事業体制を維持できるようにしています。



### 津波避難訓練を実施

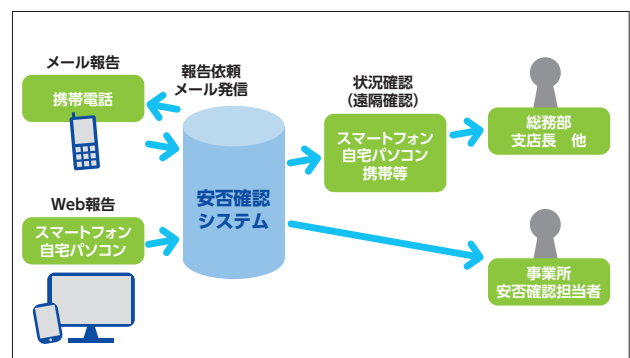
地震発生からの火災・津波を想定した避難訓練を九州沿岸部の支店で実施しました。有事の際、速やかな避難行動が取れるよう、今後も訓練を行っていきます。



避難訓練の様子

### 安否確認システムの構築と報告訓練の実施

被災時には従業員がスマートフォンなどで安否を報告し、従業員の被災状況を迅速に確認できるシステムを自社で開発。年に2回、グループ全従業員を対象に模擬訓練を実施し、実際の被災時における迅速な安否確認に備えています。



安否確認概要図

### 緊急時備蓄品の配備

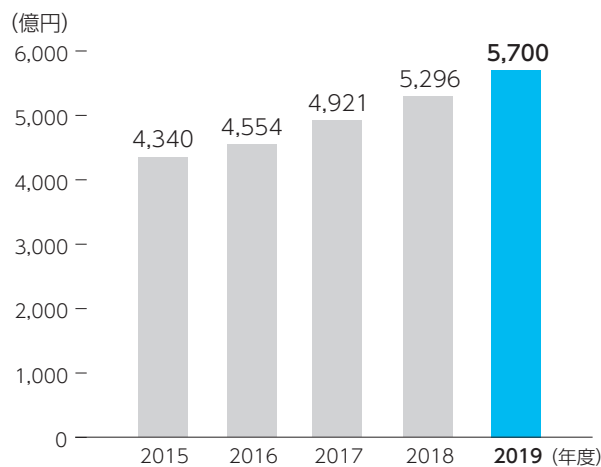
緊急時備蓄品(食糧・水・毛布・トイレ・カセットボンベなど)も全国6拠点に配備し、被災時には自社配送網により、1日以内で被災地へ輸送できる環境を整えています。賞味期限が近くなった食糧などは生活支援団体などへ寄贈され、社会福祉活動にもつながっています。

### 会社概要

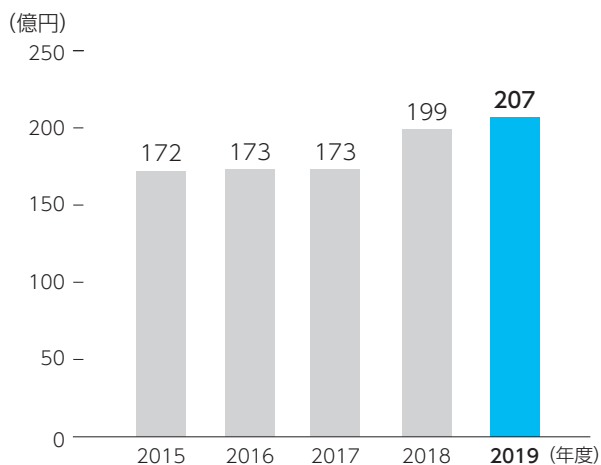
2020年3月31日現在 (グループ合計)

商号	センコーグループホールディングス株式会社 (SENKO Group Holdings Co.,Ltd.)
資本金	265億28百万円
創業	1916(大正5)年9月
設立	1946(昭和21)年7月
本社	〒135-0052 東京都江東区潮見2-8-10 潮見SIFビル
代表者	代表取締役社長 福田 泰久
事業所数	国内 611カ所 海外 59カ所
従業員数	17,644名
車両台数	6,840台(被牽引車両を含む)
支配下船舶数	69隻
物流センター	387万㎡

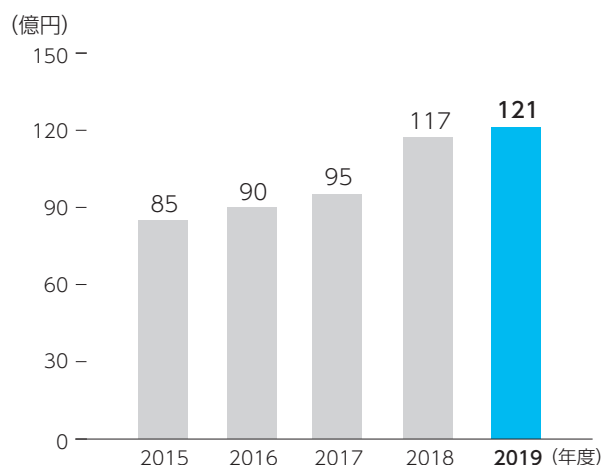
### 連結売上高



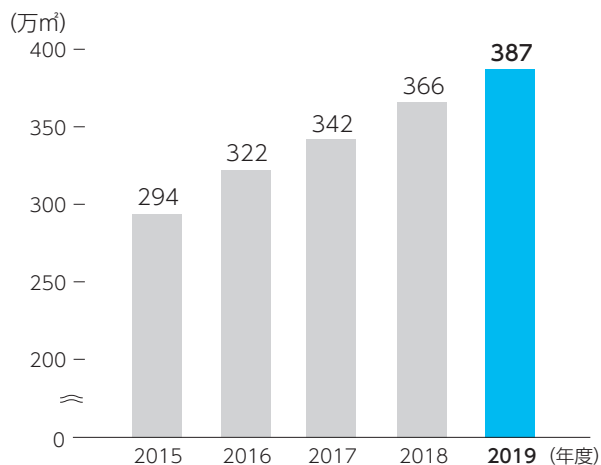
### 連結経常利益



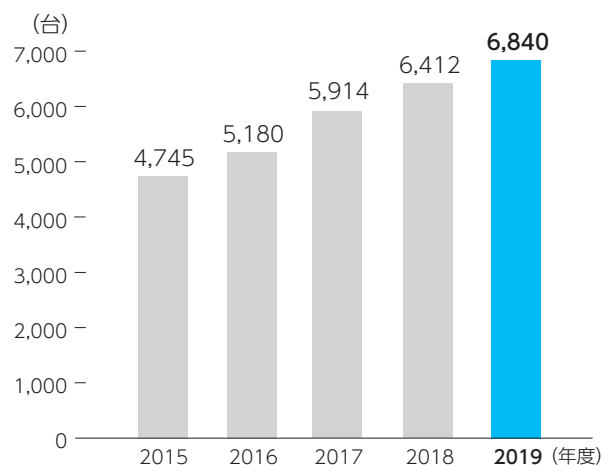
### 連結当期純利益



### 物流センター総面積



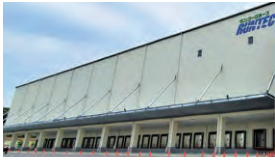
### 車両台数(被牽引車両を含む)



## 国内事業所 (611カ所)

2020年3月31日現在

2019年度に新たに稼働した主な物流センター



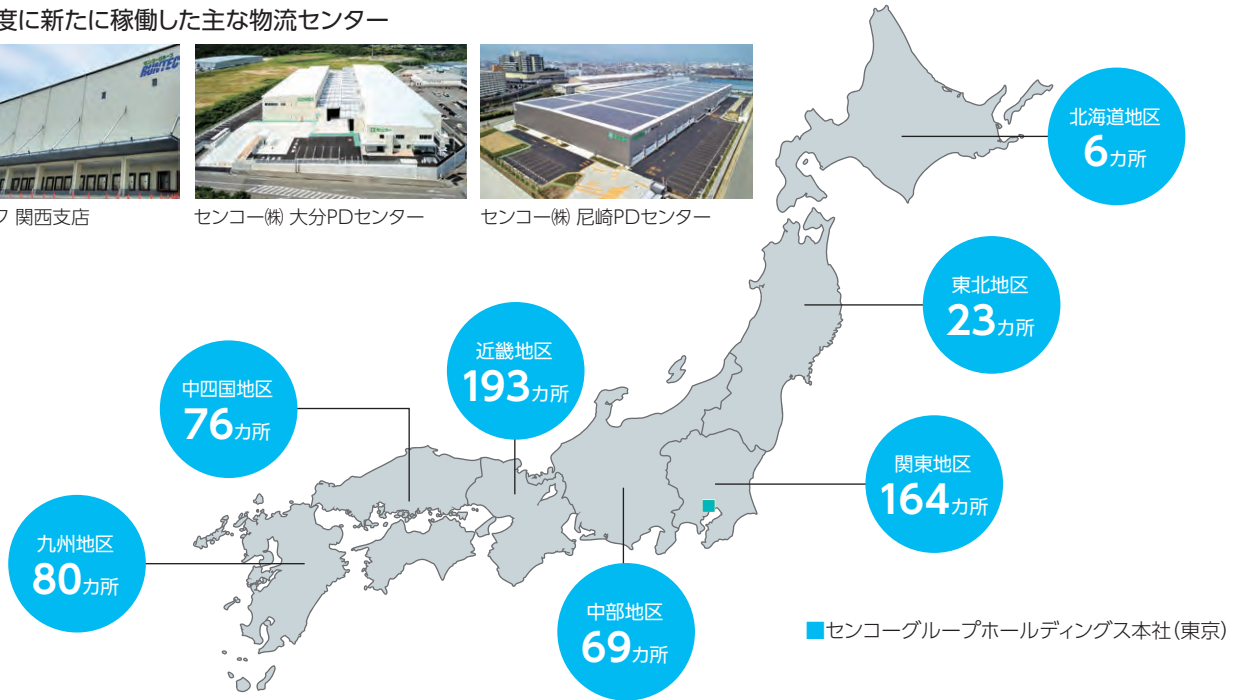
(株)ランテック 関西支店



センコー(株) 大分PDセンター



センコー(株) 尼崎PDセンター



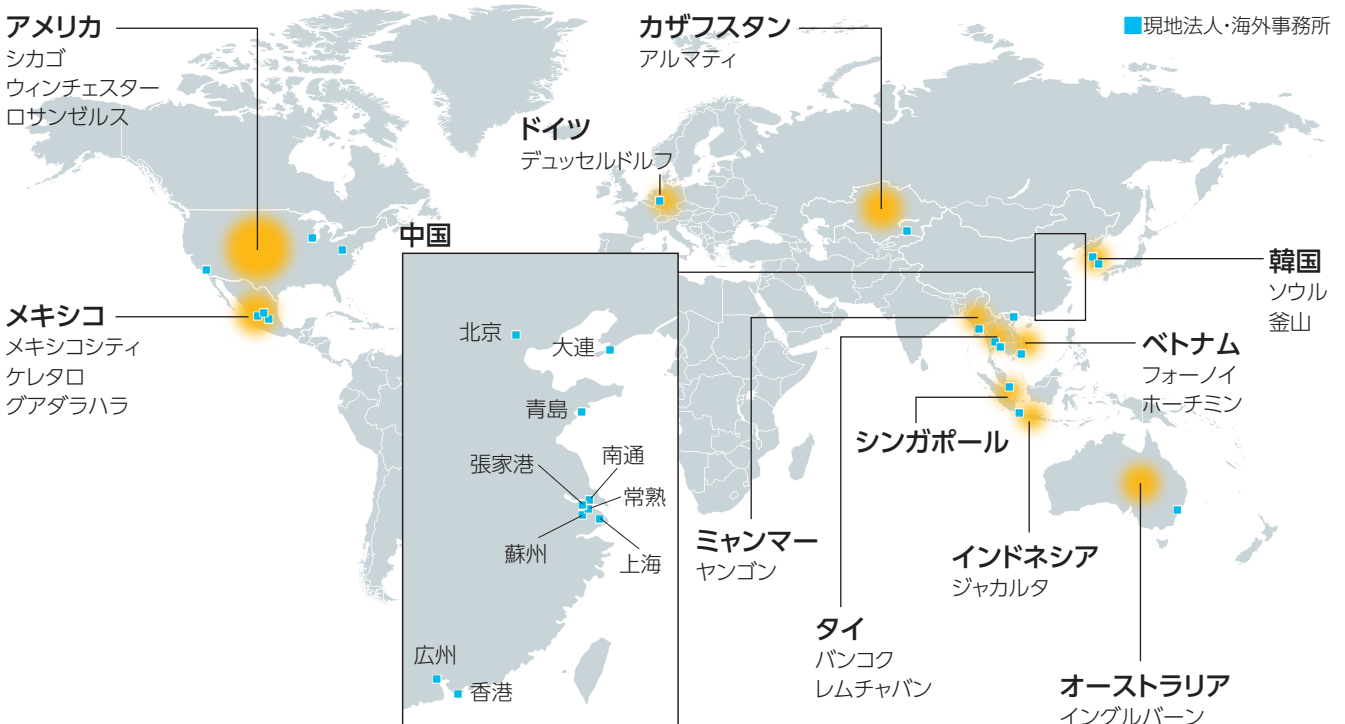
## 海外事業所 (59カ所)

2020年3月31日現在

2019年度に新たに稼働した主な物流センター



M-SENKO ロジスティクスセンター



## センコーグループホールディングス株式会社

お問い合わせ先

**広報室**

〒531-6114

大阪市北区大淀中1-1-30-1400 梅田スカイビル タワーウエスト14F

TEL.06-6440-5156 FAX.06-6440-5148

URL <https://www.senkogrouphd.co.jp>



見やすく読み間違えにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。